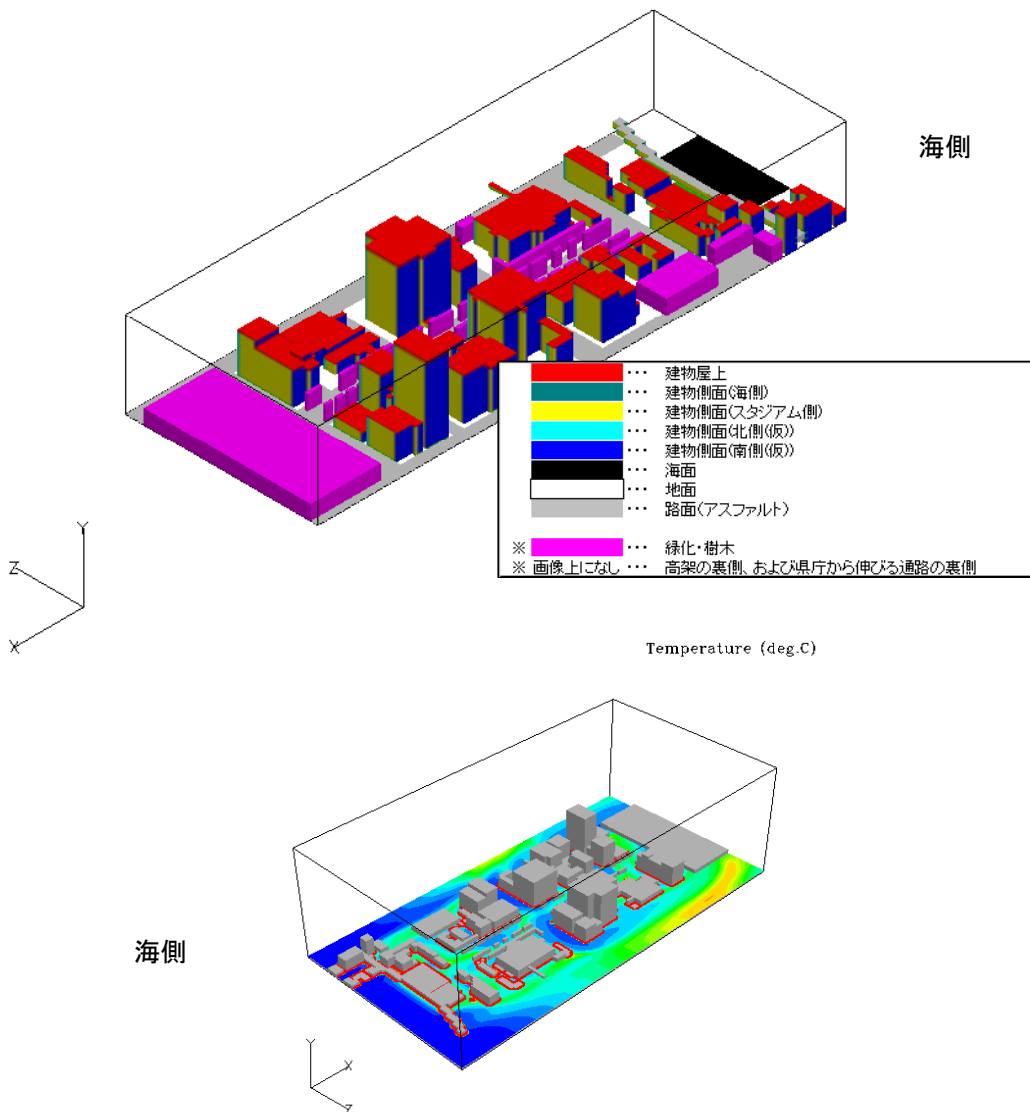


ソルバーカスタマイズ事例

解析テーマ	ヒートアイランド対策シミュレーション
使用ツール	CFD2000
顧客	横浜市環境創造局環境科学研究所
関連論文等	佐俣、福田：横浜市域での最高気温出現日におけるヒートアイランドシミュレーション、横浜市環境科学研究所報、28,pp63-65(2004)

概要

近年、大都市での環境問題として、ヒートアイランド現象が大きくクローズアップされており、国、大都市では、ヒートアイランド現象の解明とともに、その対策に取り組んでいる。ヒートアイランド対策の効果を予測するためには、コンピューターシミュレーションは不可欠であり、当社では、横浜市環境創造局環境科学研究所様向けに、CFD2000(熱・流体解析ソフトウェア)に、建築物壁面・屋上緑化モデル、建物敷地モデル、街路モデル、植栽帯モデル、空間散水モデルを組み込み、納入した。横浜市環境創造局環境科学研究所様では、当システムを用いて、ヒートアイランド現象に関する検討・対策に当たっている。



(注記) 掲載の画像は、上記関連論文等に記載の論文のものとは異なります。

備考	CFD2000: 米国 Adaptive Research 製 熱・流体解析ソフトウェア
参考文献	上記関連論文等に記載の文献を参照。